

鶴見川流域水害対策計画 (原案) の概要

特定都市河川浸水被害対策法
の施行



特定都市河川及び
特定都市河川流域の指定



流域水害対策計画（原案）公表



流域水害対策計画（案）作成



流域水害対策計画決定・公表

流域水害対策計画とは

近年、異常気象等により集中豪雨が頻発しており、都市部において浸水被害が発生しております。このため都市部の河川流域において新たなスキームによる一体的な浸水被害対策が必要となり、平成16年5月に特定都市河川浸水被害対策法が施行されました。

流域水害対策計画とは、特定都市河川浸水被害対策法第4条に基づき、流域の浸水被害を防止・軽減する目的で進める、河川整備、下水道整備、流域対策についての計画です。

鶴見川水系及び流域は、平成17年4月1日に特定都市河川及び特定都市河川流域に指定されています。

流域の皆様からの意見

学識経験者からの意見

鶴見川流域では、

流域の河川管理者、下水道管理者、
地方公共団体（国土交通省・東京都・
神奈川県・横浜市・川崎市・町田市・
稲城市）が共同して計画を策定します

皆様の意見を募集します。

● 特定都市河川浸水被害対策法とは？

この法律は、都市部を流れる河川の流域において、浸水被害の防止のための対策の推進を図り、もって公共の福祉の確保に資することを目的としています。具体的には、特定都市河川及び特定都市河川流域を指定し、浸水被害対策の総合的な推進のための流域水害対策計画の策定、河川管理者による雨水貯留施設の整備、雨水の流出を抑制するための規制、都市洪水想定区域の指定等、浸水被害の防止を図るための対策の推進を図ります。（平成16年5月施行）

鶴見川流域は、平成17年4月1日に全国で初めて特定都市河川流域に指定されました。

● 流域水害対策計画とは？

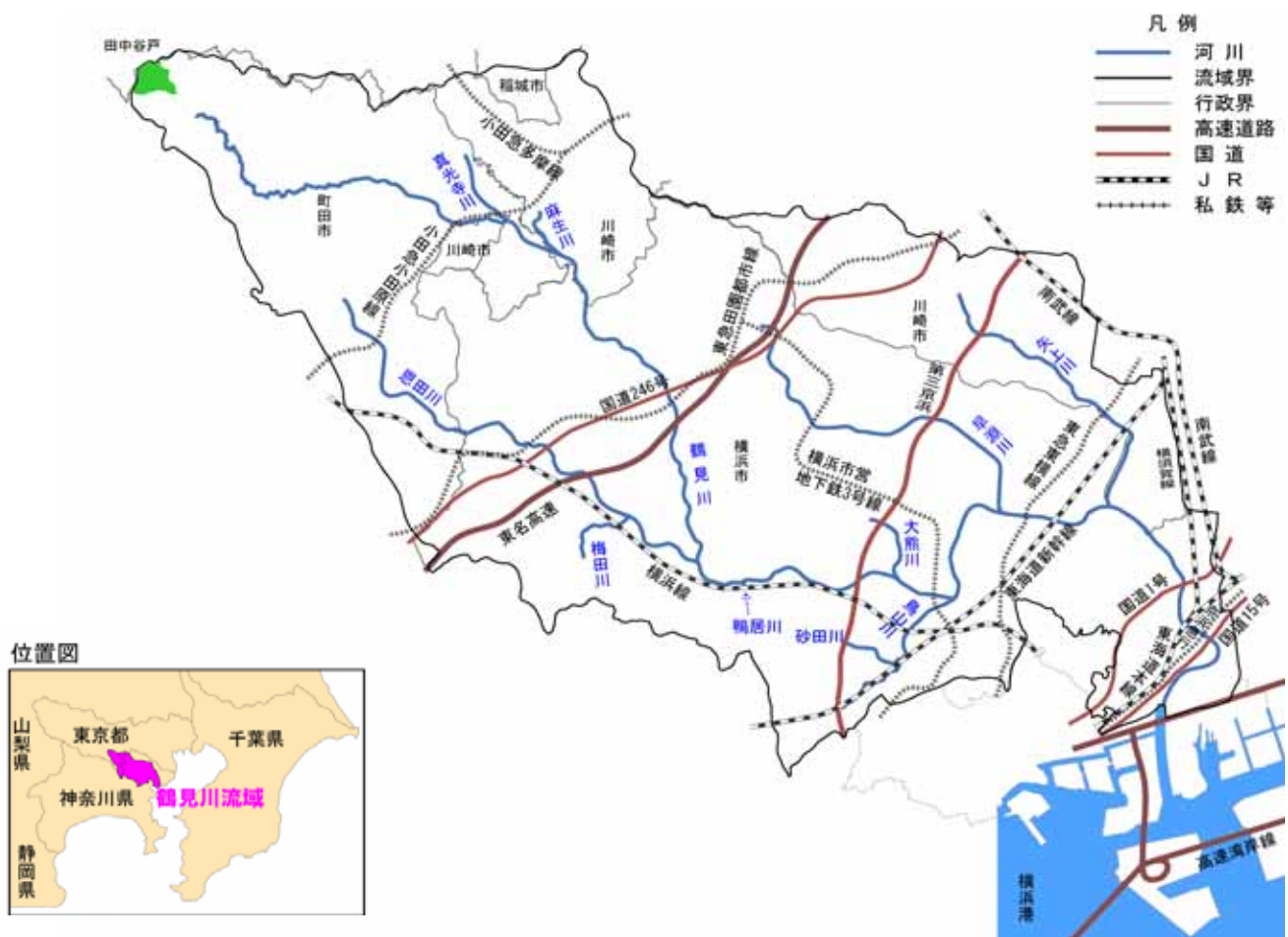
流域水害対策計画は、特定都市河川浸水被害対策法第4条に基づき、特定都市河川及び特定都市河川流域を対象に、河川、下水道、流域対策など治水対策全般に関して、浸水被害の防止を図ることを目的として定める法定計画です。計画の策定主体は、流域の河川管理者、下水道管理者、地方公共団体になります。計画の対象期間は、20～30年間を目安とします。ただし、河川及び下水道整備の進捗、河川状況の変化、社会経済の変化等にあわせ、必要な見直しを行います。

● 鶴見川流域とは？

鶴見川は約43kmの長さで235km²の流域面積を持つ一級河川です。その源は東京都町田市上小山田の多摩三浦丘陵を構成する谷戸群の一角（田中谷戸：標高約170m）にあり、東京湾に注いでいます。

鶴見川は多摩丘陵と下末吉台地の中を東に向かい、真光寺川、麻生川と合流します。恩田川と合流した後は沖積低地に入り、流れが緩やかになります。この周辺は横浜の市街地が広がっている地域です。鴨居川、大熊川と合流した後、鳥山川との合流地点では北に、早淵川との合流地点では東に、矢上川との合流地点では南東にと流れの向きが大きく変わります。そして、川崎市街地の西を流れ、京浜工業地帯に位置する河口に至ります。

鶴見川の支川には、他に恩田川と合流する梅田川、鳥山川と合流する砂田川があります。



● 流域の特徴

流域には、首都東京と国際都市横浜の住宅域が、河口付近には日本産業の中枢を支えてきた京浜工業地帯が広がり、首都圏における社会・経済・文化等の基盤を成しています。

鶴見川流域では、昭和30年代中頃から急激に市街化が進展し、森林などの緑の豊かな自然環境が著しく減少し、地表がアスファルトに覆われたことなどによって、流域の保水・遊水機能が失われ、浸水被害の危険性が増大しました。



浸水被害対策の基本方針

- ★ 河川整備と下水道整備の推進
- ★ 雨水貯留浸透施設整備の推進
- ★ 流域流出量の抑制及び保水・遊水機能の保全
- ★ 流域対策の徹底
- ★ 浸水被害拡大防止対策の推進
- ★ 継続的なモニタリング

計画対象期間

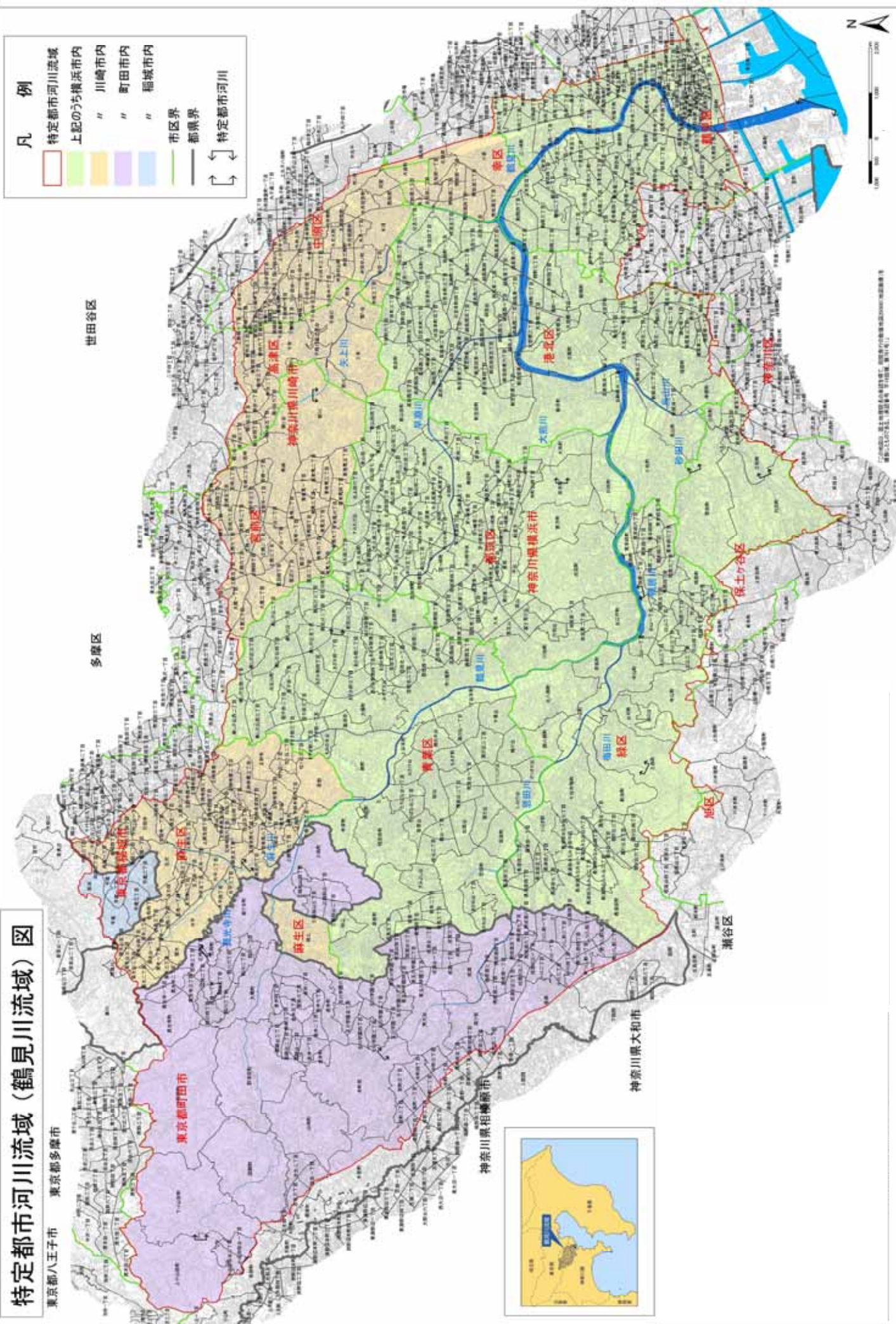
計画対象期間は、概ね30年間とします。なお、川をとりまく状況の変化や社会状況の変化に応じて見直しを行います。

計画対象区域

本流域水害対策計画の対象区域は、鶴見川流域全体とし、河川対象区間は流域内の一級河川とします。

特定都市河川流域（鶴見川流域）図

東京都八王子市



浸水被害対策の目標

●都市洪水の発生を防ぐべき降雨

以下の降雨により発生する洪水を安全に流せるようにします。

- 国土交通省管理区間
戦後最大降雨【昭和33年9月狩野川台風】（343mm/2日）
- 東京都・神奈川県・横浜市管理区間
概ね10年に1回発生する降雨（約60mm/h）

● 都市浸水の発生を防ぐべき降雨

以下の降雨による浸水被害を発生させないようにします。

- ポンプ排水区域等
概ね10年に1回発生する降雨（約60mm/h）
- 自然排水区域
概ね5年に1回発生する降雨（約50mm/h）



都市洪水：特定都市河川流域における洪水による破堤や溢水による浸水をいいます。

都市浸水：一時的に大量の降雨が生じた場合において、下水道や河川などに雨水を排水できないことによる浸水をいいます。

自然排水区域

雨水を下水管で自然に川や海に放流します。

ポンプ排水区域

下水管が川や海より低い
ため、ポンプで汲み
上げて排水します。



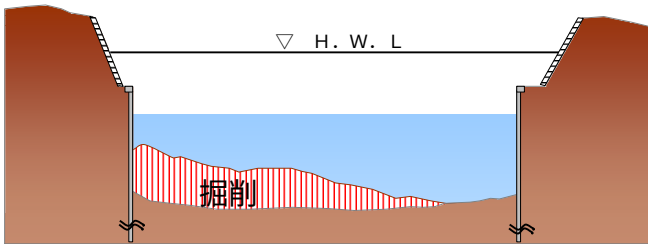
対策の内容

河川の整備

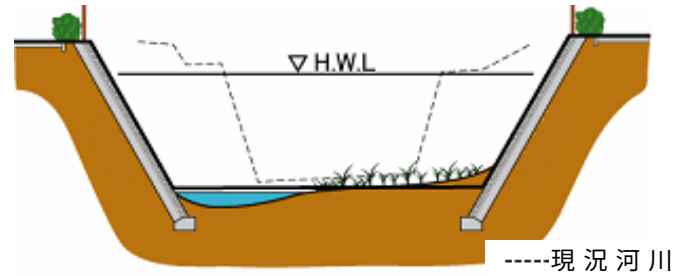
目標降雨により生じる洪水を安全に流し、浸水被害を防止・軽減するため、河道断面の確保対策等を実施します。

河道断面の確保対策

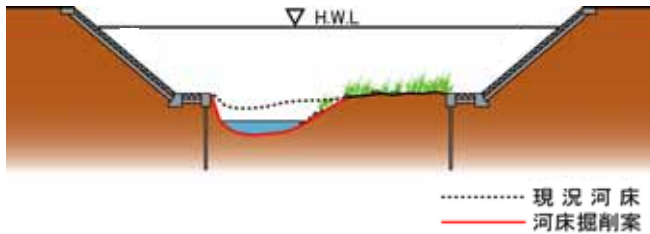
国土交通省管理区間（鶴見川）



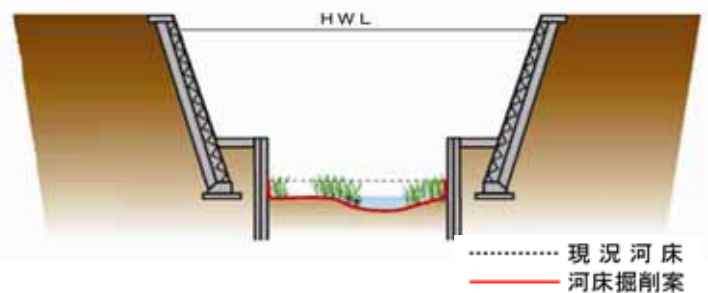
東京都管理区間（鶴見川）



神奈川県管理区間（早淵川）



横浜市管理区間（鳥山川）



下水道の整備

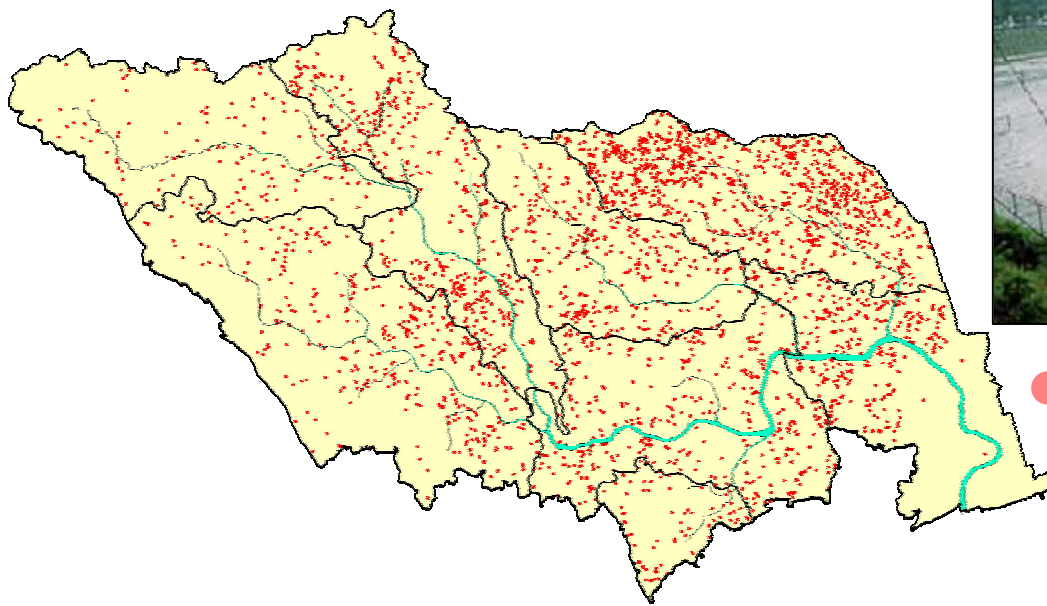
目標降雨が発生しても、浸水被害が生じないように下水道施設の整備を実施します。



雨水貯留管イメージ



流域対策

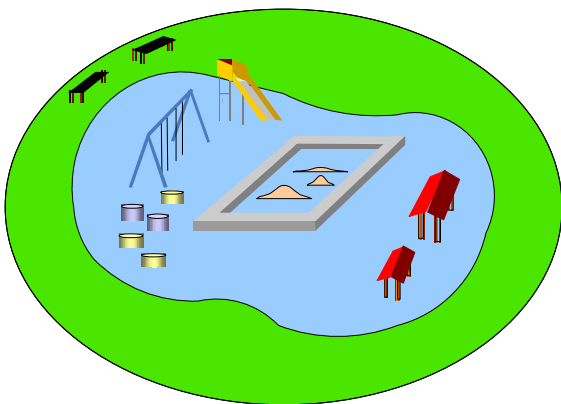


●防災調整池

鶴見川流域には、現在、約3,300基(約270万m³)の防災調整池が設置されています。これらの施設については、保全調整池の指定などを行って、その機能を保全します。また、今後行われる雨水の浸透を阻害する行為に対しては対策工事の実施を徹底します。

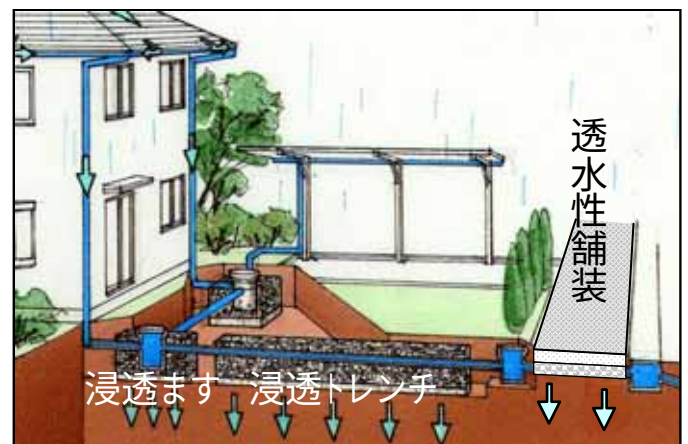
また、公共施設での貯留浸透施設の整備、緑地の保全などにより、流域のもつ保水・遊水機能を保全していきます。

貯留対策



公園貯留

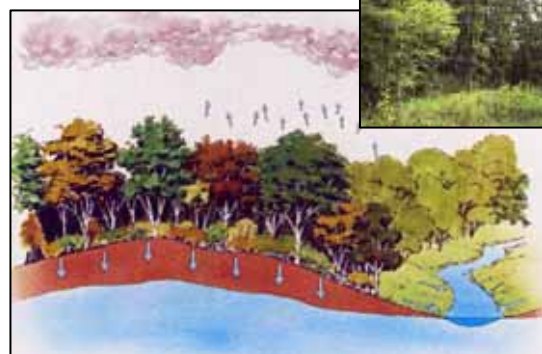
浸透対策



緑地保全



校庭貯留



流域水害対策計画と河川整備計画の関係

鶴見川流域水害対策計画は、河川法に基づく鶴見川水系河川整備計画と同時に策定します。

河川整備計画とは、河川法に基づき、計画的に河川の整備を進める区間について、具体的な整備の内容を定めるものです。

「鶴見川流域水害対策計画」は河川管理者・下水道管理者・地方公共団体（国土交通省、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、町田市、稲城市）が共同して、河川整備、下水道整備、流域対策について定めるのに対して、「鶴見川水系河川整備計画」は河川管理者（国土交通省、東京都、神奈川県、横浜市）が河川の治水・利水・環境について定めるものです。

鶴見川水系河川整備計画

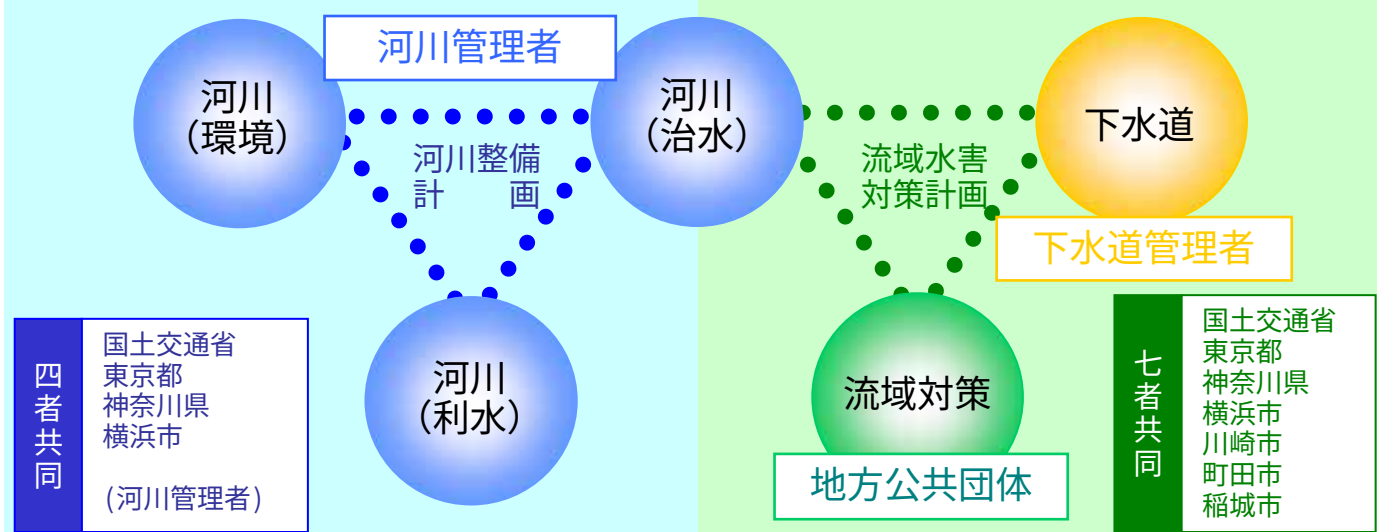
【河川法】

河川法の目的である「治水」「利水」「環境」が総合的に達成できるよう、今後の川づくりについて具体的に示すもので、河川管理者が策定します。

鶴見川流域水害対策計画

【特定都市河川浸水被害対策法】

流域の浸水被害を防止・軽減するため、「外水対策としての河川整備」、「内水対策としての下水道整備」、「流出抑制対策」を連携して行うため、河川管理者、下水道管理者、地方公共団体が共同で策定します。



流域水害対策計画(原案)の内容をもっと知りたい方は

鶴見川流域水害対策計画(原案)は、下記の場所で閲覧できます。また下記日程で説明会を行います。計画についてご意見のある方は、閲覧期間中に下記提出先まで郵送、ファックス、メールにてお送り下さい。

※閲覧期間：平成18年9月1日から10月2日まで ※閲覧時間：午前9時から午後5時まで
(開庁日を除く)

京浜河川事務所、東京都庁、神奈川県庁、横浜市役所、川崎市役所、町田市役所(成瀬クリーンセンター)、稲城市役所、流域内の各区役所 その他流域内の公共施設、計24箇所で閲覧できます。

説明会
平成18年9月19日(火) 19:00~21:00 港北公会堂(最寄駅：東急東横線大倉山駅)
平成18年9月20日(水) 19:00~21:00 町田市民ホール(最寄駅：JR、小田急線町田駅)
平成18年9月21日(木) 19:00~21:00 鶴見会館(最寄駅：JR鶴見駅)

また、国土交通省京浜河川事務所のホームページ(下記参照)でも鶴見川流域水害対策計画(原案)の公表と意見の募集をしています。なお、**電話での意見は受付しておりません**。ご了承下さい。

[意見提出及び・問合せ先]

鶴見川流域水協議会(国土交通省関東地方整備局、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、町田市、稲城市)

代表事務局：国土交通省 関東地方整備局 京浜河川事務所 流域調整課

〒230-0051 横浜市鶴見区鶴見中央2-18-1

TEL:045-503-4009 FAX:045-503-4058

E-mail: keihia66@aa.ktr.mlit.go.jp <http://www.keihin.ktr.mlit.go.jp/tsurumi/project/plan/index.htm>